

漁海況情報

第561号 (平成31年3月19日)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

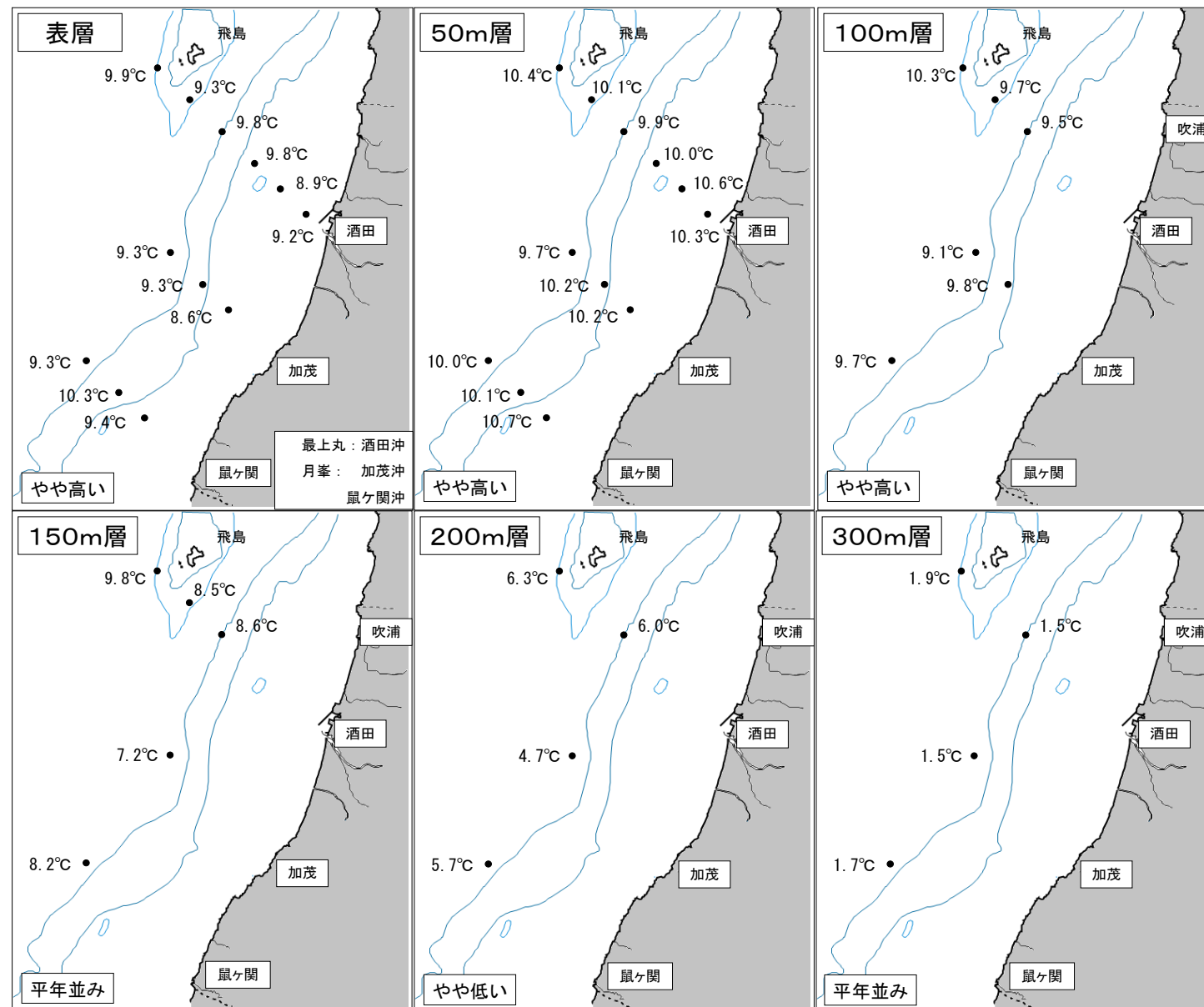
- ・水産試験場「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、それぞれ2月26日と28日に沿岸の水温観測を実施しました。表層～100m層は「やや高い」、200m層は「やや低い」、それ以外の層は「平常並み」でした。
- ・2月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産試験場)および鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「平常並み」でした。
- ・2019年1月および2月のマダラ(“たら”銘柄)は2月の中旬以降の漁獲が中心でした。漁獲量は253トンで、過去20年平均比108%でした。

各層別の平均水温(3月上旬分観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.4	10.2	9.7	8.5	5.7	1.6
前年差	+1.0	+0.6	+0.1	-1.0	-3.5	-0.3
平常差	+0.5	+0.7	+0.4	-0.6	-0.8	-0.2
評価	やや高い	やや高い	やや高い	平常並み	やや低い	平常並み
(前月評価)	(やや高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(平常並み)	(やや高い)

評価の表現:“平常並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(2月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平常差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	7.6	+1.1	-0.1	平常並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	9.0	+0.7	-0.0	平常並み

寒ダラ漁のまとめ (『甘子』銘柄は含みません)

1. 漁獲状況

1～2月の漁獲量は253トンで、前年比112%、過去20年平均比108%でした。

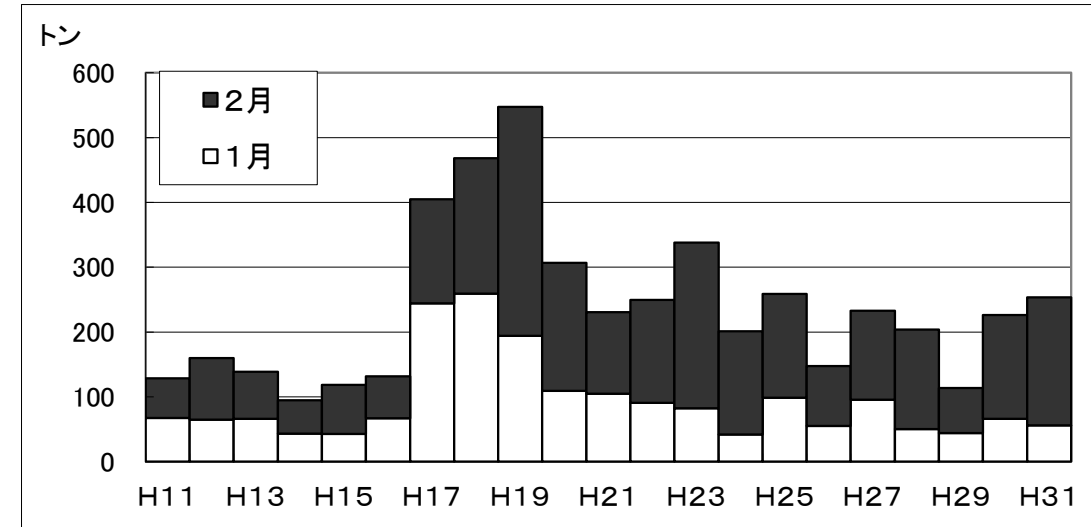


図 山形県におけるマダラ漁獲量(1～2月・全漁業種類)の推移

2. 旬別・累積漁獲状況

旬別の漁獲量は、1月上旬から2月上旬にかけて平年を下回りましたが、2月中旬以降は平年を上回りました。

1月上旬から2月下旬までの累積漁獲量は過去20年平均(1999-2018年平均)並みでした。

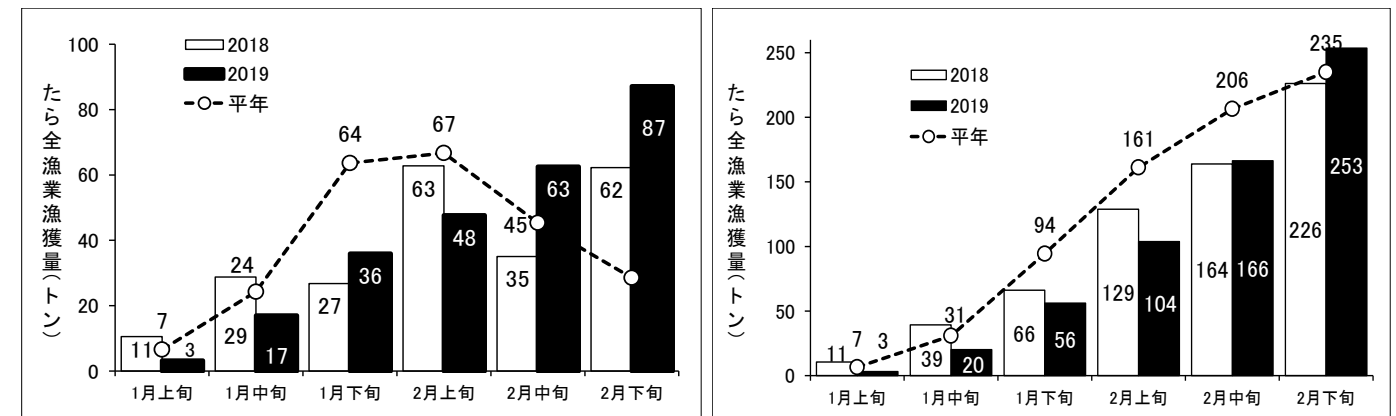


図 マダラ旬別漁獲状況(左:旬別漁獲量、右:累積漁獲量)
 ※平年は旬計・累計ともに過去20年平均(1999-2018年平均)

2月の漁況

- 延べ操業隻数は786隻で前年比78%、総漁獲量は318トンで前年比107%でした。
- 底びき網漁業の延べ操業隻数は267隻で前年比91%、漁獲量は292トンで前年比112%でした。ホッケ、アカムツおよびマダラは前年を上回り、タイ類、ヒラメ、ハタハタ、スケトウダラ、ウマヅラハギ、ズワイガニおよびサメ類は前年を下回りました。
- はえなわ漁業およびフグ縄漁業の延べ操業隻数は86隻で前年比64%、漁獲量は4.2トンで前年比48%でした。トラフグ以外のフグ類は前年を上回り、タイ類、マダラ、サメ類、タコ類およびトラフグは前年を下回りました。
- その他の漁業では、さし網漁業のマガレイは前年を上回り、たらし網漁業のマダラ、採貝藻漁業のアワビ、サザエ、ナマコ、ノリ、かご漁業のタコ類および張網漁業のヤリイカは前年を下回りました。

- * 前年比は平成26～30年までの平均値と比較した値です。
- * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	35	171	117	42	157	71	10	183	786	93%	78%
総漁獲量	15,930	6,018	47,011	2,266	64,245	24,878	338	157,391	318,077	113%	107%
前年比	94%	77%	56%	142%	162%	115%	67%	144%	113%		
前年比	80%	52%	64%	160%	126%	109%	35%	137%	107%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	16	38	68	28	117	267	94%	91%
タイ類	17	3,544	162	248	1,187	5,158	52%	70%
ヒラメ	59	98	291	382	694	1,525	31%	68%
カレイ類	417	285	2,003	1,024	1,719	5,448	90%	100%
ハタハタ	1,310	269	6,907	1,819	19,430	29,735	155%	38%
スケトウダラ	30	4	55	12	8	109	62%	7%
ホッケ	119	700	2,863	924	8,605	13,211	230%	1147%
アンコウ	89	185	969	585	1,828	3,655	73%	109%
ウマヅラハギ		1,059	49	439	79	1,626	79%	68%
アカムツ	62	880	130	106	661	1,839	138%	157%
マダラ	9,711	26,282	42,548	17,177	101,792	197,510	126%	167%
紅エビ	82	834	1,666	22	5,275	7,878	118%	109%
ズワイガニ	20		403	14	279	716	125%	25%
ヤリイカ	82	434	612	62	4,001	5,190	50%	96%
タコ類	43	66	157	138	433	837	127%	85%
サメ類	575	1,264	1,044	550	5,742	9,174	120%	78%
その他	644	1,587	1,041	506	4,363	8,141		
計	13,260	37,491	60,899	24,008	156,094	291,753	114%	112%
前年比	101%	48%	165%	117%	144%	114%		
前年比	78%	59%	131%	111%	139%	112%		

その他の漁業

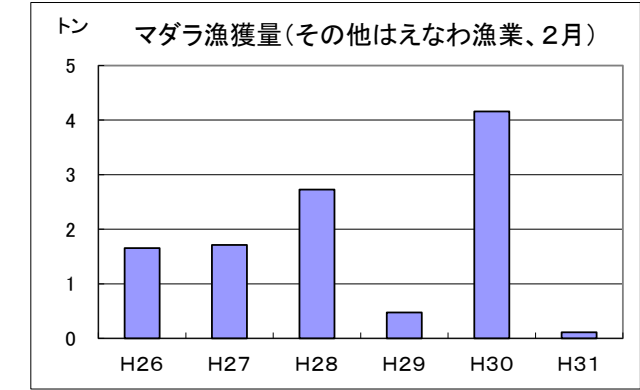
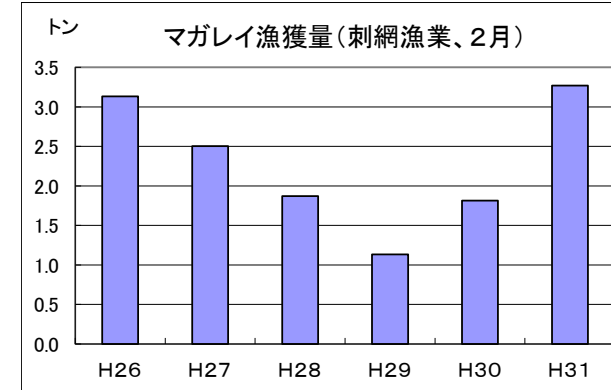
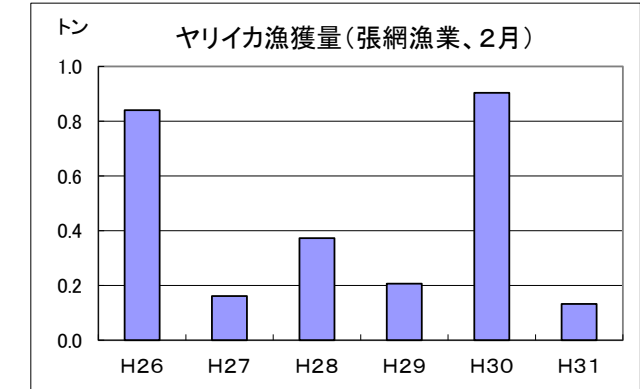
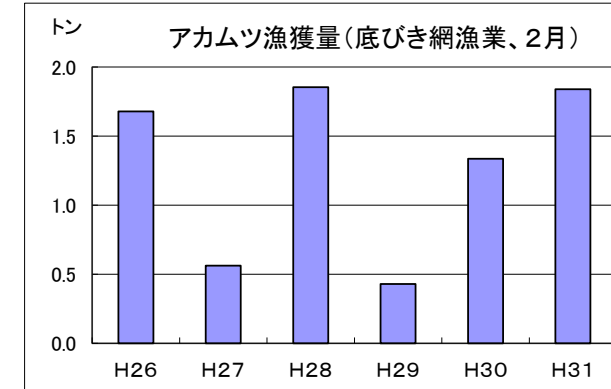
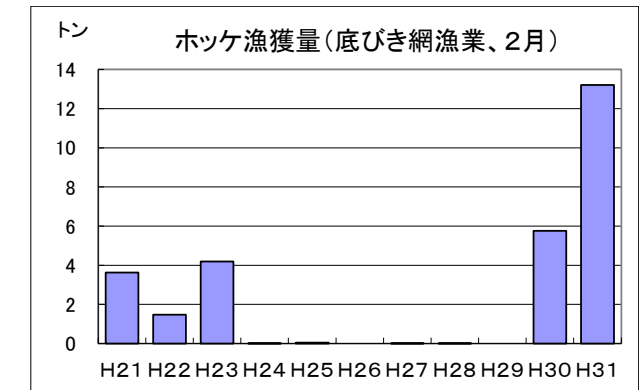
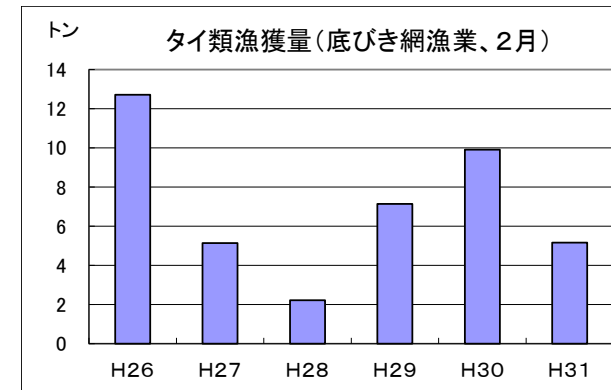
漁業種類	いか一本釣漁業	さし網漁業	たらし網漁業	採貝藻漁業				かご漁業	張網漁業
延べ操業隻数	31	83	6	144				52	13
漁獲量		4,925	1,046	2,148					2,206
前年比		151%	538%	65%					57%
前年比		121%	49%	46%					69%
主な対象魚種	スルメイカ	マガレイ	マダラ	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ	タコ類	ヤリイカ
漁獲量	6,725	3,270	490	290	587	1,217	47	2,325	132
前年比	2102%	180%	365%	36%	80%	128%	10%	86%	15%
前年比	105%	156%	46%	23%	62%	74%	28%	82%	27%

はえなわ漁業（“ふぐなわ漁業”含む）

単位：隻、kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	3	5	3	22	19	7	27	86	86%	64%
タイ類				12	3	178	537	730	220%	49%
マダラ		47		38	21	7		113	3%	5%
サメ類	541	470		29				1,040	330%	53%
タコ類			210	438	78			726	80%	56%
トラフグ(※)		41		25	17	2	56	141	654%	24%
その他フグ類	49	125		559	108	43	60	943	371%	831%
その他	12	47		78	145	70	173	524		
計	601	730	210	1,179	371	299	826	4,216	60%	48%
前年比	537%	17%	48%	178%	49%	73%	189%	60%		
前年比	251%	19%	42%	115%	49%	41%	51%	48%		

※平成28年以前は“ふぐなわ漁業”のフグ類を“トラフグ”としています。



- 最上丸の調査予定(3月中旬～4月上旬)
- 海洋観測を行います。
 - 底びき網調査(沖合礁)を行います。
 - 加入量調査(ハタハタ)を行います。

みなさま、調査への御理解と御協力よろしくお願いします。

